

# 平成31年度 学校運営連絡協議会実施報告

## 1 組織

- (1) 都立葛西工業高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 主幹教諭(教務主任兼務)=事務局長、教務部員2名 計3名
- (3) 内部委員の構成  
副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務担当）、総務主任、主幹教諭（生活指導担当）、主幹教諭（進路指導担当） 計6名
- (4) 協議委員の構成  
学識経験者（大学教授）、PTA会長、前PTA会長、同窓会長、地域有識者（地域企業団体代表者）、近隣中学校長2名、近隣自治会代表者2名 計9名

## 2 平成31年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～2回）の開催日時、出席者、内容、その他  
第1回 令和元年6月26日（水）内部委員6名、協議委員5名  
学校運営連絡協議会の趣旨説明、学校近況報告（各分掌より）、外部委員の紹介、協議委員委嘱、意見交換  
第2回 令和元年11月28日（木）内部委員6名、協議委員6名  
学校近況報告（各分掌より）、協議委員からの教育活動に対する意見  
第3回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他  
第1回 令和元年6月26日（水）内部委員2名  
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察  
今年度の学校評価の実施に向けた検討  
第2回 令和元年11月28日（木）内部委員2名  
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討

## 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・1月	全校生徒	配布：483枚	回収：460人	回収率：95.2%
・1月	保護者全員	配布：483枚	回収：366人	回収率：75.8%
・1月	地域住民	配布：70枚	回収：52人	回収率：74.3%
・1月	近隣中学校生徒	配布：360枚	回収：310人	回収率：86.1%
・1月	教職員	配布：57枚	回収：57人	回収率：100%

### (3) 主な評価項目

- ・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、部活動、安全、施設・設備等
- ・学校の特色化に対する保護者・地域・中学校の理解
- ・地域との連携事業及び奉仕活動・ライフワークバランス

### (4) 評価結果の概要（学校及び校長への意見・提言内容）

- ・『学校での生活は、自分の将来に有益だと思う』に対する生徒の回答で、『有益だと思う』と回答している3年生は77%で他の学年と比較すると10%以上も低いことがわかる。
- ・授業について、『教え方に工夫をしている（工夫がされていると思う）』と回答している教員・保護者の割合が約9割に対し、『授業はわかりやすい』と回答している生徒の割合は7割強と認識の差異があり、改善点である。
- ・生徒・保護者・教員それぞれの信頼関係について、9割近くが良好であると回答しているが、『悩み事を相談する環境』について、『相談しやすい環境である』と回答した生徒の割合が7割であり、改善点である。
- ・進路指導において、適切な指導・助言が行われていると回答した生徒・保護者の割合が高い。
- ・行事や部活動・生徒会活動は活発に行われていると生徒・保護者・教員ともに肯定的な回答をしている。
- ・生徒の自己肯定感について、学年が上がるにつれて高くなっている。

### (5) 評価結果の分析・考察（学校及び校長への意見・提言）

- ・継続的なキャリア教育や進路指導を通して、教育目標や自らの将来、職業について今まで以上に考える機会を増やしていく。
- ・小テストやまとめの時間を今まで以上に設けることで生徒の実態を把握し、個に応じた指導を行うことで、生徒の理解度を高める。
- ・スクールカウンセラーと連携することや生徒との関わりを増やすことで、相談しやすい環境を教員全体で作っていく。
- ・進路指導において、今後も継続して情報収集や生徒の適性や希望を生かした指導を行う。
- ・葛西工業の良さや特色を生かした行事を今後も継続して実施していくことで、広報活動につなげる。
- ・今後も継続してインターンシップや体育祭、江紫祭など様々な行事を大切に行い、生徒が自らの良さを見出せるように努める。

## 4 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

### (1) 学校運営

- ・今後も継続して開かれた学校づくりを行い、生徒・保護者における教育目標の理解を深める。
- ・教育目標や自らの将来、職業について今まで以上に考える機会を増やすために、キャリア教育や進路指導を継続的に行う。

### (2) 学習指導

- ・資格取得の機会を多く与え、継続的な指導を行う。
- ・今まで以上に生徒の実態を把握し、個に応じた指導を行うことで、生徒の理解度を高める。

(3) 生活指導

- ・生徒に寄り添った指導を行うことで、生徒の非違行動の件数を減らす。
- ・スクールカウンセラーと連携し、生徒との関わりを増やすことで、相談しやすい環境づくりを行う。

(4) 進路指導

- ・生徒が相談しやすい環境を作り、生徒の適性或希望に沿った進路の実現を行う。
- ・インターンシップなど外部と連携した進路指導を継続的に行う。

(5) 特別活動

- ・葛西工業の良さや特色を生かした行事を継続して実施する。

(6) 健康・安全

- ・外部と協力して安全教育を行うことで、生徒の防災・安全教育についての理解を深める。

5 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

- ・今年度は参加実績はなし

6 その他

- ・保護者、地域のアンケート回収方法の工夫と、集計・分析内容の検討を図る。